

報道関係各位

2018年2月16日
株式会社サンシャインシティ

3月5日はさんごの日！ サンゴを学ぼう！サンゴフェスタ

2月24日（土）～3月11日（日）



©2018 ANAN 雑誌 AND Tm

(左から) 東京海洋大学名誉博士・客員准教授さかなクン、サンシャイン水族館「サンゴ礁の再生～恩納村の海から～」水槽、サンドアート、オリジナルフォトフレーム作り

サンシャインシティ（東京・池袋）では、サンゴの日（3月5日）にあわせた2月24日（土）～3月11日（日）の期間に「3月5日はさんごの日！サンゴを学ぼう！サンゴフェスタ」を開催いたします。美しい海に生息するサンゴについてより深く楽しく「知る」「学ぶ」ことができるイベントです。

サンシャイン水族館では「サンゴクイズ&スタンプラリー」や、一部に沖縄県恩納村のサンゴ砂などを使用した「サンドアート」、サンゴの生態や豆知識を紹介するパネル展示、風化したサンゴで焙煎した35COFFEEの販売などを実施します。

また、サンシャインシティ 噴水広場（アルパB1）では、「サンゴ」や「海」に関わるワークショップや、サンシャイン水族館が沖縄県恩納村の協力の下で取り組んでいる「サンゴプロジェクト」をパネル展示や映像で紹介したり、移動式プラネタリウムでの沖縄県恩納村のダイビング疑似体験、海のいきものに触れることのできる「タッチプール」など盛りだくさん。また、2018年はサンゴ礁保全のための国際的枠組みである国際サンゴ礁イニシアティブ（ICRI）により定められた“国際サンゴ礁年”であり、サンシャイン水族館がオフィシャルサポーターをつとめています。そこで、国際サンゴ礁年アンバサダーであり東京海洋大学名誉博士・客員准教授のさかなクンによるステージも開催します。

サンゴについて楽しく学べる「3月5日はさんごの日！サンゴを学ぼう！サンゴフェスタ」に是非お越しください！

3月5日はさんごの日！サンゴを学ぼう！サンゴフェスタ イベント概要

開催期間：サンシャイン水族館は2月24日（土）～3月11日（日）

サンシャインシティ 噴水広場は3月3日（土）～3月4日（日）

場 所：サンシャイン水族館（ワールドインポートマートビル・屋上）、サンシャインシティ 噴水広場（アルパB1）

料 金：無料 ※サンシャイン水族館は入場料が必要となります。※サンシャインシティ 噴水広場でのワークショップ、ドームプラネットは有料

主 催：サンシャインシティ、サンシャイン水族館

協 力：環境省

サンシャイン水族館

・サンゴクイズ&スタンプラリー

【日時】2月24日（土）～3月11日（日）

【場所】水族館内

【内容】館内数か所にサンゴに関するクイズを掲出します。クイズに答えて、サンゴや海の生き物をモチーフにしたスタンプを押して回ることでサンゴに関する知識が深まります。

・サンドアート

【日時】①3月5日（月）12：00～/16：30～（各回約15分）②3月5日（月）14：00～16：00

【場所】①水族館内1階大水槽「サンシャインラグーン」前 ②さくらルーム（ワールドインポートマートビル・9階）

報道関係者様からの
お問い合わせ先株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 鳴海・中山・大浦
TEL. 03-3989-3329（平日9:30～18:00） FAX. 03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部9部 前山・高橋 TEL. 03-3571-5238

- 【出演】 サンドアートパフォーマンス集団 S I L T、MC:上間江望（声優）
 【内容】 ①一部に沖縄県恩納村のサンゴ砂などを使用し、光と影によって描かれる砂絵が次々と変化するサンドアートのオリジナル演目「サンゴプロジェクト」を実演します。
 ②サンゴ砂などを使用したサンドアートの体験会を実施します。※参加無料

サンドアートパフォーマンス集団 S I L Tとは・・・

逆光に照らされた砂の陰影の濃淡だけで描かれた、階調の深さと粒子感が魅力の絵画表現「サンドアート」のパフォーマンス集団として2012年に結成。様々なイベントへの出演、ミュージシャンとのコラボレーション、テレビ番組への出演など多方面で活躍。



・特別パネル展示

- 【日時】 2月24日（土）～3月11日（日）
 【場所】 水族館内1階「サンゴ礁の海」水槽前、「サンゴ礁の再生～恩納村の海から～」水槽前
 【内容】 サンゴの生態や豆知識を紹介するパネルを設置します。

・限定メニューの販売

- 【日時】 2月24日（土）～3月11日（日）
 【場所】 カナロア カフェ
 【内容】 風化したサンゴで焙煎した「35COFFEE」（378円）を販売します。



サンシャインシティ 噴水広場（アルパB1）

・ワークショップ&体験コーナー

- 【日時】 3月3日（土）～4日（日）
 【内容】 小学生以下のお子様に参加できる「サンゴ」や「海」に関わるワークショップを実施します。サンゴや貝殻を使ってオリジナルのメモスタンドやフォトフレームを作ったり、タッチプールで沖縄の魚に触れることができます。

◆オリジナルメモスタンド作り

- 3月3日（土） 11:00～/17:30～
 3月4日（日） 15:00～
 ※参加費：500円/人、各回定員30名、各回約30分

◆オリジナルフォトフレーム作り

- 3月3日（土） 15:00～
 3月4日（日） 11:00～/17:30～
 ※参加費：500円/人、各回定員30名、各回約30分

◆タッチプール

- 3月3日（土）～4日（日）
 各日 10:00～/12:30～/15:00～/18:00～/18:30～
 ※参加費無料、各回約30分
 ※生物の状態により、開催時間が変更となる場合がございます。



フォトフレーム



タッチプール

・サンゴプロジェクト紹介コーナー

- 【日時】 3月3日（土）～4日（日） 10:00～20:00
 【内容】 サンシャイン水族館が沖縄県恩納村の協力の下で取り組んでいる「サンゴプロジェクト」について、大型パネルや噴水広場の大型ビジョンなどで紹介します。

・ドームプラネット

【日時】3月3日(土)～4日(日) 10:00～20:00

【内容】「知らない世界」をまるでその場にいるような臨場感で体験できる新感覚アトラクション。

ドームの中に入ると沖縄県恩納村の海でダイビングをしているような360度の映像体験ができます。

※参加費 300円/人、各回定員 30名、各回約 15分



ドームプラネット

・ステージイベント

◆「恩納村サンゴの村宣言」PRステージ

【日時】3月3日(土)・4日(日) 各日 13:00～13:30

【内容】沖縄県恩納村の協力の下でサンシャイン水族館が取り組んでいる「サンゴプロジェクト」や、2018年7月実施予定の「恩納村サンゴの村宣言」の紹介を行います。また、MISS 恩納ナビーによる三線の演奏も実施します。

【出演】伊波 留衣(MISS 恩納ナビー) ほか

◆さかなクンと学ぶ「さんごの“いま”」(仮)

【日時】3月3日(土) 16:00～17:00

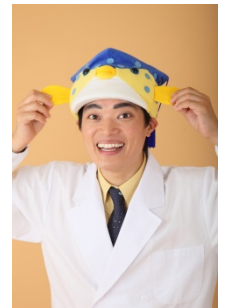
【内容】国際サンゴ礁年 2018 アンバサダーのさかなクンらによるトークイベントを実施し、サンゴ礁の素晴らしさや大切さについてお話しします。

また、トーク終了後には、さかなクンによるイラストクイズを開催します。

【登壇者】さかなクン(東京海洋大学名誉博士・客員准教授)

岡野 隆宏 氏(環境省 自然環境局自然環境計画課 保全再生調整官)

丸山 克志(サンシャイン水族館館長)



©2018 ANAN AND Tm.
さかなクン



国際サンゴ礁年 2018 は、海の熱帯林としても知られるサンゴ礁とそれを取り巻く自然を守るために、世界中の人々が、気候変動などのサンゴ礁に対する影響を認識して、それぞれできる行動をしようというキャンペーンです。サンシャイン水族館は国際サンゴ礁年 2018 のオフィシャルサポーターです。

◆サンシャイン水族館飼育スタッフによる「サンゴトーク」

【日時】3月3日(土) 14:00～、4日(日) 14:00～/16:00～

【内容】サンゴの生態や保全について解説をする「サンゴトーク」を噴水広場の大型ビジョンを活用した特別バージョンにて実施します。

■サンシャイン水族館 概要

所在地：東京都豊島区東池袋 3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル・屋上

営業時間：10:00～20:00(4月～10月)、10:00～18:00(11月～3月) ※最終入場は終了1時間前 ※変更になる場合あり

※特別営業：3月21日(水・祝)～3月31日(土) 10:00～21:00

入場料金：大人(高校生以上) 2,200円、子ども(小・中学生) 1,200円、幼児(4才以上) 700円

問合せ先：サンシャイン水族館 03-3989-3466 <http://www.sunshinecity.co.jp>

■サンシャインシティ 専門店街アルパ 概要

所在地：東京都豊島区東池袋 3-1 サンシャインシティ 専門店街アルパ B1・1F・2F・3F

営業時間：(お買物) 10:00～20:00、(お食事) 11:00～22:00 ※一部店舗を除く

問合せ先：サンシャインシティ総合案内 03-3989-3331 <http://www.sunshinecity.co.jp>

※画像はすべてイメージです。 ※金額はすべて税込です。

報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 鳴海・中山・大浦
TEL. 03-3989-3329 (平日 9:30～18:00) FAX. 03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PR アカウント本部 9部 前山・高橋 TEL. 03-3571-5238



サンシャイン水族館「サンゴプロジェクト」の取り組み ～サンゴ返還プロジェクト&サンゴ礁再生プロジェクト～

http://www.sunshinecity.co.jp/campaign/cp/coral_project/

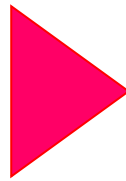
サンシャイン水族館（東京・池袋、館長：丸山克志）では、2006年4月より沖縄県恩納村の協力のもと「サンゴプロジェクト」を行っています。

2006年より、沖縄県恩納村のサンゴをお預かりし、水族館で展示・育成を行い、成長したサンゴを枝打ちして沖縄の海に戻す「**サンゴ返還プロジェクト**」を行ってきました。さらに2014年12月からは、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の協力により、遺伝子型を確認した沖縄のサンゴの受精卵によりサンゴを殖やす「**サンゴ礁再生プロジェクト**」を開始しました。サンシャイン水族館ではこれらの取り組みを「サンゴプロジェクト」と称し、サンゴの保護と啓発活動を継続しています。

サンシャイン水族館では、サンゴ礁の再生を願い、今後も保全活動を継続してまいります。



サンゴ移植直後 (3.3cm×1.2cm)



約5年後 (48cm×38cm)

サンゴプロジェクト

たくさんの生物が暮らすサンゴ礁では、天敵となるオニヒトデの大量発生や土地開発等による土砂の流出、表層水温上昇に伴うサンゴの白化などでサンゴの大量斃死(へいし)が起こっています。沖縄県本島中央部、西海岸沿いに位置する恩納村は以前よりサンゴの保全活動を実施しています。サンシャイン水族館では2006年からサンゴ礁の再生に向けて沖縄県恩納村の協力の下、サンゴプロジェクトを推進しています。

時期	主な出来事
2006年	「サンゴ返還プロジェクト」開始 ※沖縄県恩納村協力の下 「サンシャイン サンゴ礁」水槽新設
2008年	「サンゴの枝打ち」お披露目記者発表会実施 サンゴの植え付け準備作業(恩納村の海掃除&オニヒトデ駆除) サンゴ返還式実施 サンゴ返還・植付け 1回目
2010年	サンゴ返還・植付け 2回目
2011年	サンシャイン水族館全館リニューアルにより、「サンシャイン サンゴ礁」水槽が「サンゴ礁の海」水槽、「サンゴ礁の再生～恩納村の海から～」水槽にリニューアル サンゴ返還・植付け 3回目
2012年	サンゴ返還・植付け 4・5回目
2013年	サンゴ返還・植付け 6・7回目
2014年	「サンゴ礁再生プロジェクト」開始 ※沖縄科学技術大学院大学(OIST)の協力の下 サンゴ返還・植付け 8・9回目
2015年	サンゴ返還・植付け 10回目
2016年	「サンゴプロジェクト」ウェブサイト立ち上げ http://www.sunshinecity.co.jp/campaign/cp/coral_project/ 一般のお客様向けに「サンゴ教室」を開催 サンゴ返還・植付け 11回目
2017年	「サンゴ教室」開催 サンゴの産卵 卵の育成開始 サンゴ返還・植付け 12回目

「サンゴ返還プロジェクト」に関する活動
「サンゴ再生プロジェクト」に関する活動

報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 鳴海・中山・大浦
TEL. 03-3989-3329 (平日 9:30～18:00) FAX. 03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部 9部 前山・高橋 TEL. 03-3571-5238

サンゴ返還プロジェクト

沖縄県恩納村漁業協同組合よりサンゴをお借りして育成し、殖やしたサンゴを沖縄の海へ還す活動を実施しています。恩納村の海に移植したサンゴが数年後に成長し、一斉産卵で浮遊した卵が流れ着いた新天地で定着することで、サンゴ礁再生の一端を担うことを目標としています。また、サンシャイン水族館に母サンゴを輸送し、水槽内飼育をすることで、自然災害等で恩納村の海のサンゴが死滅した場合の、DNAを保管する役割も担っています。



サンシャイン水族館での工程



大きく育ったサンゴを枝打ち



スティックに固定し、水槽内で育成

沖縄の海での工程



①岩盤に穴を開けます。



②穴の中にスティックを挿し込みます。



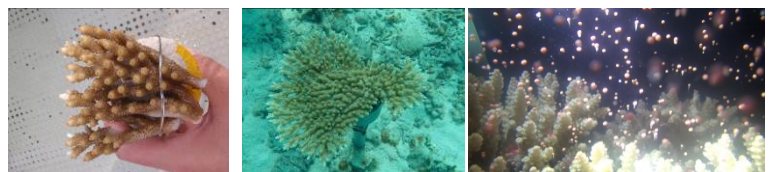
③識別タグをつけたら完成！成長を見守ります。

サンゴ礁再生プロジェクト

2014年12月より、「サンゴ礁再生プロジェクト」を開始しました。この活動は、サンゴの卵と精子が受精する有性生殖の方法を使ってサンゴを殖やし、サンゴ礁の再生を目指します。現在は、サンゴ礁の優占種（もっとも数が多い種類）であるミドリイシサンゴの仲間を3種類選定し、親サンゴとして沖縄で育てています。毎年6月頃の産卵を目指しており、2017年6月に初めて産卵を確認しました。

★サンゴ礁再生プロジェクトの方法

- ①親となるサンゴの育成。
- ②親サンゴが産卵し恩納村海域へのサンゴの幼生の供給を増やす。また、卵の一部を回収し、サンシャイン水族館にてサンゴの赤ちゃんを飼育。
- ③成長した子サンゴを恩納村の海へ移植。



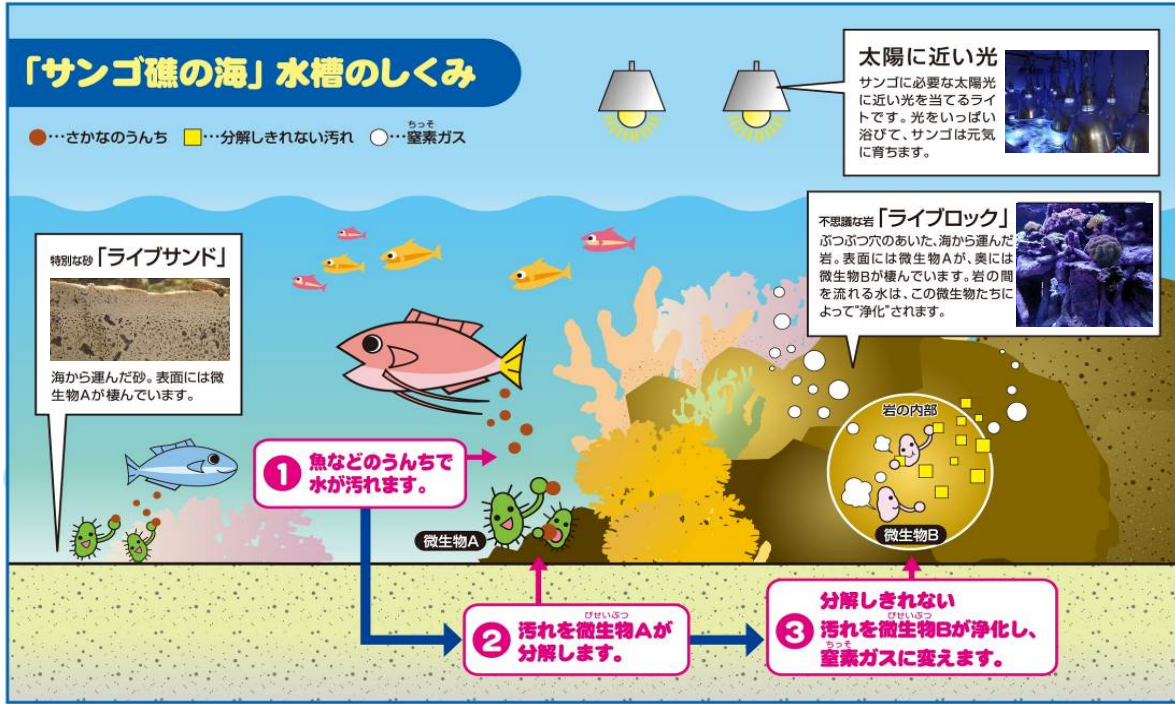
左：親サンゴ 2014年12月、中央：親サンゴ 2015年9月、右：親サンゴの産卵 2017年6月

水族館でサンゴを飼育するために

水族館でサンゴを飼育するためには、魚を飼育する以上に水槽の環境に配慮する必要があります。サンゴを飼育する水槽には、水質・光・水流などをサンゴに適した条件にするために様々な機材や工夫が必要です。サンシャイン水族館では下記の図のしくみによる水槽でサンゴを飼育しています。



「サンゴ礁の再生～恩納村の海から～」水槽



サンゴとは？

サンゴは、刺胞（しほう）動物と呼ばれるグループの仲間です。刺胞動物のグループには、イソギンチャクやクラゲも属していて、刺胞と呼ばれる毒の器官を持っているのが特徴です。サンゴもこの刺胞を使って、エサとなるプランクトンを捕まえています。また、サンゴは太陽の光が届く浅いあたたかな海に生息しています。これはサンゴの生活のほとんどが光合成によって作り出されるエネルギーに由来しているためです。サンゴの体内には「褐虫藻（かつちゅうそう）」という植物プランクトンが共生しており、この褐虫藻が光合成によって作り出すエネルギーをサンゴが利用しています。

